

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	京都保健衛生専門学校
設置者名	学校法人京都保健衛生専門学校

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数	省令で定める基準単位数	配置困難
医療専門課程	看護学科三年課程	夜・通信	10 単位	10 単位	
	第一臨床検査学科(新)	夜・通信	10 単位	10 単位	
	第一臨床検査学科(旧)	夜・通信	10 単位	10 単位	
	第二臨床検査学科(新)	夜・通信	6 単位	6 単位	
	第二臨床検査学科(旧)	夜・通信	7 単位	7 単位	
(備考) 第一臨床検査学科：令和8年4月1日 教育課程変更 第二臨床検査学科：令和8年4月1日 修業年限、教育課程変更					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

申請により閲覧可能

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	京都保健衛生専門学校
設置者名	学校法人京都保健衛生専門学校

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ「情報公開」にて閲覧可能 https://www.kyohosen.ac.jp/about/info/

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤 の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	医療法人理事長	2025年6月11日～ 2027年定時評議員会終結時	理事会を構成し、法令 及び寄附行為で定める ところにより職務を執 行する。
非常勤	医療法人理事長	2025年6月11日～ 2027年定時評議員会終結時	理事会を構成し、法令 及び寄附行為で定める ところにより職務を執 行する。
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	京都保健衛生専門学校
設置者名	学校法人京都保健衛生専門学校

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
授業の計画は、科目試験結果・授業アンケート結果・学生の技術到達点等を参考に、継続して実施し効果が出ている点、改善すべき点等を学科会議において話し合い、科目担当教員・講師との意見交換を経て決定する。 授業計画書(シラバス)には、授業の概要・目標、授業計画、成績評価の方法、テキスト・参考図書等を具体的に記載している。	
授業計画書の公表方法	・クラウドストレージ上でのデータ管理(学生・教職員共有) ・申請により閲覧可能
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
学則施行細則に則り、厳正な履修評価を実施している。 1. 科目の履修評価を受けるには、授業時間数の3分の2以上の出席を必要とする。 2. 履修の評価は試験により行う。 3. 履修評価による成績は、優(80点以上)・良(70点以上80点未満)・可(60点以上70点未満)および不可(60点未満)とし、優・良・可を合格とする。 4. 履修評価に合格した者に対して、単位認定会議の議を経て、学校長が所定の単位を与える。	

3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 成績一覧を作成し、科目平均点、学生個人の平均点を算出、全体的な成績状況の把握を行っている。 併せてG P Aを用いた成績管理を実施し、成績の分布状況の把握に活用している。 学生個々の単位認定状況は、年度末単位認定会議終了後学生本人に通知している。	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	申請により閲覧可能
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 学則に規定する期間在学し、所定の授業科目を履修し単位を取得した者に対して、卒業認定会議を経て学校長が卒業を認定する。 但し、所定の授業日数の3分の1をこえる欠席をした者の卒業は認めない。	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	・申請により閲覧可能 ・ディプロマポリシー：ホームページ上に公表 https://www.kyohosen.ac.jp/about/

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	京都保健衛生専門学校
設置者名	学校法人京都保健衛生専門学校

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページ「情報公開」にて閲覧可能 https://www.kyohosen.ac.jp/about/info/
収支計算書又は損益計算書	ホームページ「情報公開」にて閲覧可能 https://www.kyohosen.ac.jp/about/info/
財産目録	ホームページ「情報公開」にて閲覧可能 https://www.kyohosen.ac.jp/about/info/
事業報告書	ホームページ「情報公開」にて閲覧可能 https://www.kyohosen.ac.jp/about/info/
監事による監査報告（書）	ホームページ「情報公開」にて閲覧可能 https://www.kyohosen.ac.jp/about/info/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	看護学科三年課程	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	104 単位	81 単位		23 単位		
			104 単位				
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		99 人	0 人	9 人	25 人	34 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
対象理解、根拠ある看護・責任を教育の中核に置き、科目を構築している。看護学や臨床に近い内容から学習を始め、必要を感じながら基礎を学ぶ。講義と演習を往還する学びから、現場で活用できる知識・技術を身につけることを目指す。 臨地実習においては、1、2年次には対象と看護師が目指す姿を知るための実習、2、3年次には、場や対象、状況に応じた看護を学ぶ実習、最終の看護マネジメント実習で、看護師として目指す姿に近づくための実習を行っている。
成績評価の基準・方法
1. 授業科目の履修評価を受けるには、授業時間数の3分の2以上の出席を必要とする。 2. 履修の評価は試験により行う。 3. 履修評価による成績は、優・良・可および不可とし、優・良・可を合格とする。 ※優（80点以上）良（70点以上80点未満）可（60点以上70点未満）

卒業・進級の認定基準
学則に規定する期間在学し、学則別表教育課程に定める授業科目の単位を取得した者に対して、卒業を認定する。 但し、所定の授業日数の3分の1をこえる欠席をした者の卒業は認めない。
学修支援等
各学年とも担任制をとり、複数名の担任を配置している。 学生からの学修相談は随時受け付け、必要時には個別指導を実施している。 また、障害者差別解消法に基づく合理的配慮提供の体制を整え、きめ細やかな対応を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
38 人 (100%)	2 人 (5.3%)	36 人 (94.7%)	0 人 (%)
（主な就職、業界等） 病院（京都私立病院協会加盟病院、大学附属病院 他）			
（就職指導内容） 学生の希望や、個々の学生と病院との相性を確認した上で個別に紹介を行っている。 6 月には京都私立病院協会加盟病院参加の「就職ガイダンス」を実施、学生が必要な情報を得られる場を提供している。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 看護師国家試験受験資格			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
108 人	9 人	8.3%
（中途退学の主な理由） 精神的・身体的な理由、学業不振、進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任制をとり、個別の学習支援、生活指導を行っている。 「学生相談室」を設置、臨床心理士によるカウンセリングを実施している。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
医療		医療専門課程	第一臨床検査学科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
3 年	昼	(新) 106 単位 (旧) 108 単位	(新) 73 単位 (旧) 73 単位		(新) 33 単位 (旧) 35 単位			
			(新) 106 単位 (旧) 108 単位					
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
120 人		64 人	0 人	5 人	15 人	20 人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
学生個々が iPad を所有し、講義や実習の資料閲覧や記録に活用している。1 年次においては理科系基礎科目のリメディアル教育を実施し、入学前における学習に不足のある学生をフォローしている。 臨地実習は、1 年次後期に病院検査室で 1 週間の心電図実習、2 年次後期に病院、検査センター、健診センターで計 12 週間の実習を行なっている。 また、3 年次には知識のまとめと国家試験対策の授業を重点的に実施し、国家試験合格へと導く。	
成績評価の基準・方法	
1. 授業科目の履修評価を受けるには、授業時間数の 3 分の 2 以上の出席を必要とする。 2. 履修の評価は試験により行う。 3. 履修評価による成績は、優・良・可および不可とし、優・良・可を合格とする。 ※優（80 点以上）良（70 点以上 80 点未満）可（60 点以上 70 点未満）	
卒業・進級の認定基準	
学則に規定する期間在学し、学則別表教育課程に定める授業科目の単位を取得した者に対して、卒業を認定する。 但し、所定の授業日数の 3 分の 1 をこえる欠席をした者の卒業は認めない。	
学修支援等	
各学年とも担任制をとり、複数名の担任を配置している。 学生からの修学相談は随時受け付け、必要時には個別指導を実施している。 また、障害者差別解消法に基づく合理的配慮提供の体制を整え、きめ細やかな対応を行っている。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
21 人 (100%)	2 人 (9.5%)	18 人 (85.7%)	1 人 (4.8%)
(主な就職、業界等) 病院、衛生検査所、検査センター			

(就職指導内容) 専任の教員を配置し、随時相談を受け付けている。また、希望施設の見学等を実施し学生が納得した上で就職先を決定できるようサポートしている。
(主な学修成果(資格・検定等)) 臨床検査技師国家試験受験資格
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
71 人	6 人	8.5%
(中途退学の主な理由) 精神的・身体的な理由、学業不振、進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制をとり、個別の学習支援、生活指導を行っている。 「学生相談室」を設置、臨床心理士によるカウンセリングを実施している。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	第二臨床検査学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
(新)3 年 (旧)4 年	夜	(新) 105 単位 (旧) 107 単位	(新) 72 単位 (旧) 72 単位		(新) 33 単位 (旧) 35 単位		
			(新) 105 単位 (旧) 107 単位				
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160 人		42 人	0 人	3 人	17 人	20 人	

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画) 学生個々が iPad を所有し、講義や実習の資料閲覧や記録に活用している。入学当初から担任と面談を行い、生活の安定を図るため必要に応じて医療系アルバイトの紹介等を行っている。 臨地実習は、2 年次後期に病院検査室で 1 週間の心電図実習、4 年次前期に病院検査室等で 11 週間の実習を行う。 また、4 年次には知識のまとめと国家試験対策の授業を重点的に実施し、国家試験合格へと導く。
成績評価の基準・方法 1. 授業科目の履修評価を受けるには、授業時間数の 3 分の 2 以上の出席を必要とする。 2. 履修の評価は試験により行う。 3. 履修評価による成績は、優・良・可および不可とし、優・良・可を合格とする。 ※優(80 点以上) 良(70 点以上 80 点未満) 可(60 点以上 70 点未満)

卒業・進級の認定基準
学則に規定する期間在学し、学則別表教育課程に定める授業科目の単位を取得した者に対して、卒業を認定する。 但し、所定の授業日数の3分の1をこえる欠席をした者の卒業は認めない。
学修支援等
各学年とも担任制をとり、複数名の担任を配置している。 学生からの修学相談は随時受け付け、必要時には個別指導を実施している。 また、障害者差別解消法に基づく合理的配慮提供の体制を整え、きめ細やかな対応を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
7人 (100%)	2人 (28.6%)	5人 (71.4%)	0人 (%)
（主な就職、業界等） 病院、衛生検査所、検査センター			
（就職指導内容） 専任の教員を配置し、随時相談を受け付けている。また、希望施設の見学等を実施し学生が納得した上で就職先を決定できるようサポートしている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 臨床検査技師国家試験受験資格			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
47人	7人	14.9%
（中途退学の主な理由） 精神的・身体的な理由、学業不振		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任制をとり、個別の学習支援、生活指導を行っている。 「学生相談室」を設置、臨床心理士によるカウンセリングを実施している。		

②学校単位の情報

a)「学生納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
看護学科 三年課程	300,000 円	600,000 円	200,000 円	
第一臨床 検査学科	300,000 円	700,000 円	400,000 円	
第二臨床 検査学科	300,000 円	600,000 円	400,000 円	
修学支援（任意記載事項）				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページにて公開 https://www.kyohosen.ac.jp/about/info/ 申請により書類閲覧可能		
第三者評価の基本方針（実施方法・体制） 学校関係者評価委員会は、学識経験者、卒業生、在校生の保護者からの委員 7 人～11 人で構成する。 評価に当たっては、各種議事録や事業報告等の資料に加え、学校が行った自己点検評価の結果・改善の取組・今後の方向性の記述も踏まえて、学校運営・教育活動・学生支援・財務等の各項目について、各委員が評点をつける形とする。 業務の改善点等がある場合は、学校長、担当理事、教務部長、事務局長で構成する校務運営会議にて検討の上、各学科会議に下ろし改善方法を決定する。		
第三者評価の委員		
所属	任期	種別
司法書士事務所	2025 年 4 月 1 日～ 2027 年 3 月 31 日	学識経験者
社会保険労務士事務所	2025 年 4 月 1 日～ 2027 年 3 月 31 日	学識経験者
病院	2025 年 4 月 1 日～ 2027 年 3 月 31 日	卒業生
病院	2025 年 4 月 1 日～ 2027 年 3 月 31 日	卒業生
病院	2025 年 8 月 1 日～ 2027 年 3 月 31 日	卒業生
	2025 年 8 月 1 日～ 2027 年 7 月 31 日	在校生保護者
	2025 年 8 月 1 日～ 2027 年 7 月 31 日	在校生保護者

第三者評価結果の公表方法
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページにて公開 https://www.kyohosen.ac.jp/about/info/ / 申請により書類閲覧可能
(備考)
第三者評価は未実施のため、学校関係者評価に関する情報を記載

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.kyohosen.ac.jp/
--